

平成21年度の予算案をお知らせします	2・3
特定不況対策緊急金融融資あっせん制度を拡充しています	4
住民基本台帳の閲覧状況	4
市民協働センター事業をさらに充実させます	5
市からのお知らせ	11面から
年度末の手続きはお早めに	最終面

平成
21年度
予算案

一般会計

611億5,814万円

～今ある危機を乗り越え、輝く三鷹の未来を切り拓くために～

平成21年度の市の予算案が、2月26日から始まった市議会定例会で審議されます。

新年度の予算案は、今ある危機を乗り越えて輝く三鷹の未来を切り拓くために、「安心」、「活力」、「未来」の3つの「視点」を重点政策のポイントとして、「選択と集中」による経営資源の重点化を図り編成しました。

三鷹市は引き続き、「高環境・高福祉のまちづくり」による、「人間のあすへのまち」の実現に向けた取り組みを進めていきます。



2・3面に関連記事



三鷹市長
清本 麻子

昨年来の経済危機については、「100年に一度」と形容されるなど、まさに、今、世界は、同時に大きな経済危機に直面していると言えます。日本経済も、長い低迷期を脱却しつつ景気回復を続けてきましたが、昨年のサブプライム危機に端を発する金融資本市場の混乱が国内の実体経済にも悪影響を及ぼし、雇用情勢が一層厳しさを増すなど景気は急速に悪化しています。

そのような状況の中で、現在、国・地方を通じて「政府」に求められる役割は、「今ある危機」に的確に対応すべく、市民生活を守るセーフティネットをきめ細かく作り上げるとともに、未来を見通した確かなビジョンを構築し、その実現を目指して、地域の展望と活力を創出し、「未来への投資」に向けた着実な取り組みを進めることだといえます。

下水道を代表とする都市基盤等の整備を先駆的に進めてきた三鷹市が、現在、直面している都市の更新に関する課題は、先例となる解決のモデルが少ない困難なものです。今後日本の多くの都市自治体が直面するであろうこの課題の解決を先導する、未来を先取りした都市再生モデルの提示が三鷹市に求められています。もちろん、それには確かな自治体経営の手腕も必要とされます。

そこで、私は、本年度の予算編成に際しては、各部の経常業務について従来にも増して厳しい2・5%の目標削減比率を設定しました。さらに市民の皆様へのニーズに対応する新規事業に取り組む際には、現状の業務を廃止したり変更したりして臨むという「スクラップ・フックアップ・ビルド」を徹底させました。その上で、市税の動向及び市債や基金の健全な活用に配慮しつつ、学校、保育園等の公共施設の建替えや改修、生活に欠かせない新ごみ処理施設の建設等の「未来への投資」を決定しました。

そして、本年度を、市民の皆様様の生活から不安を取り除き、未来に向け、希望を持って

新年度の施政方針(概要)

暮らしていけるよう、持続的で安定した地域社会への道筋をつける年」と位置付け、市民の皆様様の生活を守り、「人間のあすへのまち」の扉を開くために、「安心」、「活力」、「未来」の3つの視点を重点政策のポイントとして、「選択と集中」による経営資源の重点化を行いました。

1 まちの「安心」をもたらしするために

不安定な経済状況から市民の皆様様の生活を守り、景気後退の直撃を受けた市内の中小事業者を支援して不安を解消するために、各種の相談や資金の融資あっせん等の緊急不況対策の取り組みを拡充するとともに、東京都と連携した緊急雇用創出事業を行います。

また、全ての世代の市民の皆様が安心して暮らせるよう、小中学生の義務教育就学児童医療費の助成の拡充や地域ケアを推進する福祉を担う人材の育成を進めます。さらに、住宅用火災警報器や家具転倒防止器具の給付を行うとともに、旧耐震基準に基づき建築された住宅の建替え及び耐震改修について固定資産税減税など税制面から支援し、災害に強いまちづくりを推進します。そして、新たに第三小学校校舎と第五中学校校舎の建替えに取り組むとともに、耐震補強を含む公会堂リニューアル整備の設計や消防団第一分団詰所の建設に着手するなど、引き続き防災拠点施設を中心とした公共施設の整備を進め、安心の都市基盤と都市施設を創ります。

2 まちの「活力」を高めるために

昨年度に三鷹商工会、三鷹市商店会連合会と連携して実施した市内共通商品券について、本年度は発行総額が2倍となる2億2千万円に拡充を図るとともに、開園5周年を迎える農業公園で記念事業を実施するなど、地域の産業と経済の活性化を図り、「三鷹のにぎわい」を拡げます。また、平成22年に迎える市制施行60周年のプレ事業として、本年度は国立天文台と連携した「三鷹の森科学文化祭(仮称)」を開催するほか、生誕100年となる大空治の顕彰事業を実施します。

さらに、三鷹ネットワーク大学や市民協働センターの運営、そして三鷹の都市観光の振興や花と緑のまちづくりについては、特定非

営利活動法人(NPO)とのパートナーシップを基調とし、「民」の力の発揮によるまちの活性化を進めます。

3 まちの「未来」を切り拓くために

本年度はこれまでの4つの中学校区での実践に加えて、残る3つの中学校区で新たなコミュニティ・スクール型の小・中一貫教育校を開園します。厳しい時代だからこそ、これからの社会やまちづくりを担う人材を育てることが必要であると考えます。

さらに、重点的な取り組みを行ってきている都市再生については、現在、策定を進めている「都市再生ビジョン(仮称)」において、その方向性を一層明確にするとともに、市民センター周辺地区の整備基本プランの策定を進める中で、各種公共施設の「集約型」の整備や再配置を視野に入れた検討を進めていきます。

また、本年度は、三鷹の将来構想の策定に取り組む必要があると考えています。そこで、「これからの10年の取り組みが、次の100年の三鷹市のあり方を決める」という時間軸を踏まえた状況認識に立ち、新たな総合計画となる第4次基本計画や、新たな行財政改革推進計画等のあり方について、総合的かつ未来を見通した政策研究に取り組みます。直面している課題の解決を図り、いつまでも、このまちで安心して心豊かに暮らし続けることができるよう、都市としての「快適性」を確保し、景気のみならず左右されない、毅然とした「品格」のあるまちづくりを進めていかなくてはならないと考えています。

日本の経済や市政を取り巻く環境は、昨年以上に厳しいものになると想定されていますが、「ピンチこそ、チャンス」にしなければなりません。私は、「今ある危機」を乗り越え、力強く前に進む、市民の皆様様の力強さ、底力とまちの潜在力(ポテンシャル)を信じています。厳しい状況だからこそ、市民の皆様や市議会の皆様とともに、今の危機を乗り越える知恵を絞り、未来を切り拓くための展望を語り合い、そして熱い思いを込めて、三鷹市の未来を一緒に築いていきたいと思えます。私は、本年度も、誠心誠意、全力で市政運営を行い、「協働・感動・躍動」が息づく、輝くまち三鷹の創造に取り組んでまいります。

案をお知らせします

平成21年度の主な事業

安全安心のまちづくりプロジェクト

- ・安全安心まちづくり事業の普及拡大
22,461,000円
- ・新型インフルエンザ対策の推進
4,790,000円
- ・防災通信体制の整備
15,242,000円
- ・高齢者・障がい者等住宅用火災警報器の設置普及
10,462,000円
- ・家具転倒防止器具の設置普及
29,837,000円
- ・都市型水害対策としての雨水管等の整備
464,931,000円



安全安心・市民協働パトロール

子ども・子育て支援プロジェクト

- ・「星と森と絵本の家」開設など絵本館プロジェクトの推進
59,051,000円
- ・北野ハビネスセンターにおける障がい者(児)の支援の充実
70,365,000円
- ・妊婦健康診査の公費負担の拡充(回数増)
125,766,000円
- ・三人乗り自転車レンタル事業の実施
3,150,000円
- ・小・中一貫教育校の推進
106,362,000円



「星と森と絵本の家」完成イメージ

ユビキタス・コミュニティ推進プロジェクト

- ・基幹系システムの次期構築方針の策定
15,000,000円
- ・ユビキタス・コミュニティ推進事業の実施
86,247,000円
- ・リニューアル後のホームページの運用
16,345,000円
- ・地方税電子申告の導入
15,927,000円
- ・地上デジタル放送の利活用
70,716,000円



「みたか地域SNS(ボキネット)」のウェブサイト



地上デジタル放送を活用した授業

ユビキタス
(ubiquitous)
ラテン語で、「どこでも」あらゆるところに」という意味。

バリアフリーのまちづくりプロジェクト

- ・みたかバリアフリーガイドの充実
4,529,000円
- ・福祉バス運行事業の充実
12,873,000円
- ・バリアフリーの道路整備の推進
13,993,000円



「みたかバリアフリーガイド」のウェブサイト

都市の更新・再生プロジェクト

- ・「都市再生ビジョン(仮称)」に基づく取り組み
35,972,000円
- ・公共施設の保全・活用に向けた取り組み
24,691,000円
- ・中央保育園と母子生活支援施設三鷹寮の建て替え(工事)
429,699,000円
- ・新ごみ処理施設の整備に向けて取り組みを進めるふじみ衛生組合への負担金
1,383,235,000円
- ・鷹南学園東台小学校の建て替え(工事)
865,873,000円
- ・三鷹中央学園第三小学校の建て替え(設計)
26,678,000円
- ・鷹南学園第五中学校体育館の建て替え(設計等)
35,320,000円



中央保育園と母子生活支援施設三鷹寮の建て替え後のイメージ



東台小学校の建て替え後のイメージ

地域ケア推進プロジェクト

- ・地域ケア事業の推進
13,264,000円
- ・認知症高齢者・精神障がい者等への生活支援
6,180,000円
- ・介護予防事業の推進
39,805,000円



西部地区での地域ケアネットワークの設立に向けたワークショップ

協働のまちづくりプロジェクト

- ・第3次基本計画(第2次改訂)と行財政改革アクションプラン2010の推進および第4次基本計画等の策定に向けた準備
7,060,000円
- ・市民協働センターの運営の充実
58,749,000円
- ・再生資源集団回収助成事業の拡充
49,703,000円
- ・花と緑のまちづくりの推進
64,060,000円
- ・「三鷹の森科学文化祭(仮称)」の開催など三鷹ネットワーク大学事業の充実に向けた協働の推進
124,397,000円



平成20年度のガーデニングフェスタ

基本計画における重点プロジェクト事業など

- ・緊急不況対策の拡充
115,941,000円
- ・緊急雇用創出事業の実施
42,664,000円
- ・市内共通商品券事業への支援
29,772,000円
- ・環境基金の活用と拡充
71,136,000円
- ・大沢総合グラウンドの整備
848,400,000円
- ・エコミュージアム事業の推進
(1)武蔵野(野川流域)の水車経営農家の整備
32,807,000円
(2)大沢二丁目古民家(仮称)の整備
3,854,000円
- ・市制施行60周年記念事業に向けた準備
8,150,000円



平成20年度の「三鷹むらさき商品券(見本)」



大沢二丁目古民家(仮称)の整備後のイメージ

平成21年度の予算

平成21年度予算案は、市長の「施政方針」を軸に、第3次基本計画(第2次改定)の着実な推進と現在の社会経済状況を踏まえた適切な対応、行財政改革の推進と財政の健全性の維持、地域主権の確立に向けた市政運営、の3点を市政運営の基本的な考え方に据えて編成しました。一般会計と特別会計の予算総額は、971億1,681万8千円で、前年度予算と比較すると、15億7,899万1千円(1.7%)の増となります。

一般会計の予算額は、611億5,814万1千円で、前年度予算と比較すると、33億814万1千円(5.7%)の増となっています。これは、鷹南学園東台小学校の建て替えや中央保育園及び母子生活支援施設三鷹寮の建て替え、学校耐震補強工事などによる「都市の更新・再生」を進めるための取り組みや、新ごみ処理施設整備に伴うふじみ衛生組合負担金の増および大沢総合グラウンド整備事業費の増などによるものです。

特別会計の予算額の合計は、359億5,867万7千円で、前年度予算と比較すると、17億2,915万円(4.6%)の減となっています。これは、後期高齢者医療特別会計で前年度予算比8,276万7千円の増を計上する一方、老人医療特別会計で前年度予算比16億127万4千円の大幅な減となることや、受託水道事業特別会計で前年度予算比3億1,513万6千円の減となることなどによるものです。

今号ではこうした平成21年度予算案の概要と、第3次基本計画(第2次改定)の最重点プロジェクトを中心にした主な事業の内容をお知らせします。

☎ 財政課 ☎ 内線2124

一般会計予算 611億5,814万円 (1人当たり341,666円)

歳出予算

議会費 市議会の運営に
4億8,724万円
0.8%
(1人当たり 2,722円)

総務費 市役所の運営、コミュニティ、文化、安全安心対策などに
78億40万円
12.7%
(1人当たり 43,578円)

民生費 社会保障、子育て支援、高齢者・障がい者福祉などに
246億2,037万円
40.3%
(1人当たり 137,544円)

衛生費 健康増進、ごみ処理、公害対策などに
56億6,843万円
9.3%
(1人当たり 31,667円)

土木費 道路、公園整備、緑化対策などに
52億7,372万円
8.6%
(1人当たり 29,462円)

消防費 消防や防災対策などに
24億2,792万円
4.0%
(1人当たり 13,564円)

教育費 小中学校教育、社会教育、スポーツ振興などに
93億4,461万円
15.3%
(1人当たり 52,205円)

公債費 市債(借入金)の返済に
46億4,844万円
7.6%
(1人当たり 25,969円)

その他 消費者・勤労者対策、農業・商工業振興などに
8億8,701万円
1.4%
(1人当たり 4,955円)

歳入予算

市税 みなさんからお預かりする税金
354億6,235万円
58.0%
(1人当たり 198,114円)

【内訳】 個人市民税 172億3,798万円
法人市民税 14億5,280万円
固定資産税 126億7,719万円
その他 40億9,438万円

各種交付金 使い方が定められていない国・都からの交付金など
33億7,589万円
5.6%
(1人当たり 18,860円)

使用料・手数料、分担金・負担金 保育料やごみ処理手数料など、みなさんに負担していただく収入
15億6,604万円
2.6%
(1人当たり 8,749円)

国庫支出金 使い方が定められている国からの負担金・補助金
70億5,332万円
11.5%
(1人当たり 39,404円)

都支出金 使い方が定められている東京都からの負担金・補助金
57億3,089万円
9.4%
(1人当たり 32,016円)

繰入金 基金(貯金)のとりくずしなど
14億7,127万円
2.4%
(1人当たり 8,219円)

市債 建設事業などのための借入金
37億5,000万円
6.1%
(1人当たり 20,950円)

その他 前年度決算の繰越金や財産売却収入など
27億4,838万円
4.4%
(1人当たり 15,354円)

各会計別の予算額

(単位 千円)

会計	平成21年度 予算額	平成20年度 予算額	増減		
一般会計	61,158,141	57,850,000	3,308,141	5.7%	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	16,472,514	16,389,494	83,020	0.5%
	下水道事業特別会計	4,013,163	4,052,434	39,271	1.0%
	老人医療特別会計	18,281	1,619,555	1,601,274	98.9%
	介護サービス事業特別会計	1,224,820	1,261,989	37,169	2.9%
	介護保険事業特別会計	9,317,336	9,219,423	97,913	1.1%
	受託水道事業特別会計	1,904,888	2,220,024	315,136	14.2%
	後期高齢者医療特別会計	3,007,675	2,924,908	82,767	2.8%
合計	35,958,677	37,687,827	1,729,150	4.6%	
総計	97,116,818	95,537,827	1,578,991	1.7%	
純計	90,785,600	88,852,143	1,933,457	2.2%	

「純計」とは、会計間の重複繰入金・繰入金を控除した額です。

一般会計と市税の当初予算額の推移

(単位 百万円)

	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比	金額	前年度比
歳入・歳出総額	57,164	3.7% (4.2%)	54,876	4.0%	56,584	3.1%	57,850	2.2%	61,158	5.7%
うち市税	32,537	1.0%	32,961	1.3%	34,712	5.3%	35,110	1.1%	35,462	1.0%

平成17年度の()内の表記は、平成16年度の住民税等減税補てん償借換えに伴う重複経理を除いた数値との比較です。

「平成21年度施政方針・予算概要」(1冊200円)平成21年度三鷹市一般会計・特別会計予算及び同説明書(1冊1,000円)は、相談・情報センター☎内線2215(市役所2階)で販売しています。また、「施政方針・予算概要」は、市のホームページでもご覧いただけます。

1 %は、一般会計予算額に占める割合を、矢印 は、前年度予算と比較した増減の傾向を示しています。
2 1人当たりの金額は、平成21年度の人口見込み(179,000人)で割り返した金額です。